

# Weekly Report

2018-19年度  
名古屋瑞穂ロータリー  
クラブ会長のテーマ  
「継続と変化」



創会立：1980年(昭和55年)1月10日  
長：平野 好道  
幹事：湯澤 信雄  
クラブ広報委員長：長谷川 隆  
例会日：毎週木曜日 PM12:30～  
会場：ビルトン名古屋

事務局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F  
TEL：052-211-3803  
FAX：052-211-2623  
MAIL：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2018-19年度  
国際ロータリーのテーマ  
インスピレーションになる  
(BE THE INSPIRATION)

インスピレーションになる

## 第1873回例会

～母子の健康月間～  
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2019年4月18日(木) 晴れ 第35回

司会：山口哲司会場委員長  
斉唱：「四つのテスト」「それでこそロータリー」  
ゲスト：ゲン・ティ・カリン

### 会長挨拶

平野好道会長

皆さん、こんにちは。今日は卓話者にゲン・ティ・カリンさんが来ていただきました。私の奨学生ライフとしてお話しさせていただきます。よろしくをお願いします。



前回の例会は家族例会ということでしたが、私は浜松で歌う予定がありましたので欠席させていただきました。代わりに亀井副会長に会長挨拶をお願いしましたが、いいお話が聞けたのではないかと思います。本日は岩田さんに会長挨拶を頼んでいましたが来週へ変更とさせていただきます。岩田さん、来週の会長挨拶よろしくをお願いします。

今回は食料自給率についてお話させていただきます。日本の食料自給率は低いと問題になっています。農水省によると2016年の日本の総合食料自給率は38パーセントで、ドイツの95パーセント、イギリス63パーセントに比べて大幅に低く、問題だとされています。しかしこの食料自給率は、カロリーベースで計算した自給率で、これとは別に生産額ベース食料自給率という指標もあります。これによると日本の食料自給率は68パーセント、ドイツは70パーセントと大差はなく、イギリスの58パーセントより高くなっています。農水省はこの両方の自給率を公開していて、どちらが適切だとは言っていないのですが、報道されるのは低い食料自給率の数字だけです。これはマスコミの責任かもしれませんが、他の国と同じではニュースバリューはなく、他の国より低くて大変だ、と言った方がニュースバリューがあるからかもしれません。

ところでこの両方の指標について畜産物は、国内であっても輸入した飼料を使って生産された分は国産に算入していないということになっています。ですから例えば鶏卵の場合、国内で産み落とされても鶏が食べる飼料が輸入ですと国産とカウントしないそうです。日本の養鶏場の鶏の90パーセントは輸入の飼料を食べているため、そこで産み落とされた卵は外国産の卵とカウントされることになります。しかしこのような考えを推し進めれば、ハウス栽培で輸入の燃料を使っていた場合、その野菜は外国産と言うべきか？肥料が外国産であれば米も外国米とすべきか？ということになってしまいます。食糧安全保障の観点から最低限の食料は自給できるようにすべきとも言われています。しかし食料だけ輸入できなくなっても国内で生産できるから大丈夫かということ、そんなことありません。

例えば肥料の三要素である、窒素、リン、カリウムは大半を輸入に頼っており、リンとカリウムは全量輸入だそうです。そうすると、肥料がなければ実際に農作物が育ちません。また最近の産業は機械化が進んでおり、燃料がなければ動きませんから、原油等の輸入が止まってしまったり、田植機、トラクター、コンバインも動かず生産もできなくなります。ハ

ウス栽培なんて全くできなくなります。

そうすると、そもそも食料自給率という数字だけを強調するのはなぜかという疑問があります。まさか国内生産した食料の方が高くても食糧安全保障の観点から大事ですよと言って、国内農家を保護するためだとは思いたくないのですが。

### 出席報告

森裕之出席委員

会員67名 出席54名 (出席計算人数51名)

出席率 90.0% 4月7日は補填により71.7%

### ニコボックス

森裕之ニコボックス委員

・4月28日は結婚記念日です。まあまあ長くなりました。

関谷 俊征さん

・田中宏さんホールインワンおめでとうございます。ロータリーのゴルフで優勝しました。めずらしい事です。

渡辺喜代彦さん

・4月は結婚記念日です。56年になります。

森 恒夫さん

・今週は久しぶりに一週間自宅勤務です。田中さんおめでとうございます。

森 裕之さん

・昨日の早朝練習おつかれ様でした。楽しかったです!!

鈴木 淑久さん

・タイガー優勝したし、ドラゴンズ調子いいし、なんだかウキウキします!!

湯澤 信雄さん

・タイガーウッズすごい。田中宏もすごい。おめでとう。

山口 哲司さん

・田中宏さん2回目のホールインワンおめでとうございます。いろんな意味でがんばって下さい。

湯澤 勇生さん

・遅くなりましたが田中宏さんお目出度うございます。

内田 久利さん

・田中宏さんホールインワンおめでとうございます。

中野 健二さん 鳥山 政明さん 亀井 直人さん

・4月9日(火曜)愛知カントリークラブで開催されたゴルフ部会のコンペでホールインワンをしました。B番ホール198Yでした。同じ組の長瀬さん、関谷さん、本多さん、お騒がせしました。 田中 宏さん

### 委員会・同好会報告

#### 野球部会：鈴木淑久さん

- ・5月26日(日)8:30～全国RC甲子園大会があります。皆さんにFAXをさせていただきましたのでご返信お願い致します。
- ・5月16日(木)17:30～パロマ瑞穂スポーツパーク野球場にて豊田中RCと練習試合をします。お近くの方は是非観戦しにいらしてください。
- ・5月22日(水)17:30～豊田にて豊田中RCと練習試合をします。よろしくをお願いします。

#### 麻雀同好会：星野一郎さん

6月13日(木)例会後に第一回麻雀例会を開催する予定です。よろしくをお願いします。

- ・今週4月25日(木)は会員卓話をする予定です。
- ・次週5月2日(木)はR規定により休会となります。
- ・次々週5月9日(木)は会員卓話をする予定です。

## 卓話

米山奨学生 ゲン・ティ・カリンさん

## テーマ:「私の奨学生ライフ」

米山ロータリー奨学生のゲン・ティ・カリンです。本日はこの場で皆さまの前でお話をするという機会を与えていただき、とても嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

私は2018年度にロータリーの奨学生になって以来、ロータリーの方々と身近で接する機会が増え、外から見ていたロータリーの活動を中から見られるようになりました。そしてそれを通じて様々なことを考える貴重な経験を得させていただきました。私のことをより理解して頂きたいため今回の卓話で自分のライフを「テーマ」としてお話させていただきます。

## 「日本に来る前の自分」

私はベトナムの北の方から参りました。皆さまがご存知の通り、南ベトナムより北ベトナムの方が早めに戦争から独立しました。しかし戦争が終わっても国に戻れない日本人やフランス人兵士が沢山いました。私の祖父もその一人でした。

私の祖父はベトナム戦争でベトナムに来て戦争が終わっても帰らず私の祖母と結婚し、当時新ベトナム人と呼ばれました。私は小学生になるまで祖父が日本人という事実を知りませんでした。ただ祖父がいつもベトナム語ではない歌をよく歌っていた記憶が今でも残っています。その時から祖父が歌った歌、そして祖父が話す言葉がどうしても気になり、いつの間にか「日本語」を愛するようになっていました。私は日本語を学習したいと思いましたが、その当時は自分の住んでいる地域に日本語が学習できる場がありませんでした。それでも諦められず、中学校1年生の時に初めてパソコンに触れた私はスタジオジブリのアニメを見て自分で日本語を勉強し始めました。初めて覚えた日本語は「故郷」です。私はベトナム人ですが、日本の故郷を持つ祖父のことを忘れずに大切にしていきたいと思い、いつか絶対に日本に行くという決心をしました。

ベトナムでの学生時代の私は、自分がやりたいことや、やるべきことであれば何でも熱心に取り組んでいました。小学校3年生の頃から英語を勉強したり、高校ではフランス語専攻クラスでフランス語を勉強したりしました。私が通っていた高校では数学専攻、国語専攻、英語専攻、フランス語専攻などがあり、私は英語専攻で入学受験をしましたがあと少しのところで落ちてしまいましたのでフランス語専攻に行きました。英語専攻クラスに落ちた時はとても辛い思いでしたが今考えれば逆に良いことだったと思います。そこでフランス語を勉強したおかげで今私は4ヶ国が話せるようになり、フランス人の友達もたくさんできました。遊ぶ暇もないくらい毎日フランス語を勉強して、国内オリンピックコンテストで3位になることができました。多くの時間をフランス語に使って来た高校時代の私ですが日本に行くという決心は変わらず、当時の先生にその思いを伝えた時に先生はショックを受けていましたが私の小さい頃の夢ならばと応援してくれていました。

## 「来日した後」

2014年10月に日本へ来て今年で4年半が経ちました。振り返ってみればあっという間でしたがじっくり考えてみると、いろんな経験をし、いろんな人と出会い、いろんな人生を味わうことができたと思います。「日本が大好き!日本に来て本当に良かった!」と思うばかりです。

来日した直後の私の夢は、一生懸命勉強して、仕事をして、お金を稼いで、流行りの服を着て、素敵な家に住み、海外旅行をして、おいしいものを食べて、人生を思いっきり楽しんでいくことでした。しかし、今は違います。私のためでなく人のために生きることです。そう思うことができたのは学校に行けない日本に住んでいる海外の子供達に支援している

NPO法人のボランティア活動に参加したことがきっかけでした。

私は今、犬山市にある来日直後の親子でも同時に学べる教室で日本語を教えています。日本語がまだ上手に話せない子ども達と関わることの難しさを感じましたが、どんどん日本語の読み書きができるようになり、日本の生活にも慣れてきて周りの人への恐怖などを乗り越えていく子ども達の姿を見てとてもやりがいを感じました。そこで私がこれから人のためにできることは教育と夢と幸福を与えることではないかと思いました。大きい力にはなれないかもしれませんが、暖かい気持ちで彼らを支えることを希望として生きていきたいと思っています。私はどこかで「世界で一番難しいことは人と共に生きること、同時に、人と共に働くことも一番難しい」という言葉を目にしたことがあります。しかし人というのは一人では生きていけない。お互いに助け合い、心をつかち合うことで人は存在すると考えています。共に生きるために「出会い」が必要だと思います。

ロータリーは奉仕を通じて世界平和を目指していますが、世界平和とは一人一人の交流から生まれてくるものであると思います。一人一人の交流が全ての始まりであるということです。とても地味なことですが結果が見えないものでもあります。その一人一人の交流はロータリーですでに始まっており、今この素晴らしい場所でも始まっているのです。ロータリーという組織は世界と日本を結びつけてくれた架け橋のような存在です。ベトナム人留学生の私は、今皆さまの前でお話をさせていただく機会をロータリーからいただきました。これはロータリーがくれた「出会い」だと思います。この様な「出会い」から国際親善に繋がると思います。一人一人の出会いや交流を大切にすロータリー活動のおかげで様々な国の友達と仲良くできて、奨学生を卒業した方の中で今でも連絡を取り合っている人もいます。

ロータリー米山記念奨学金は私にとって世界観を広げ、ネットワークを強くし、奉仕と平和への責任感を持たせてくれた大事な存在です。これから私はロータリー米山奨学生として人と人を繋げる、そして交流の場を設けられる人間になるため頑張っていきたいと思っています。また今後は、今までの感謝の気持ちを表す恩返しとして奉仕活動にも積極的に参加し、自らの体験を発信していくように頑張ります。そして一期一会の言葉通りに皆さまとの出会いを大切にしていきたいと思っています。

最後になりますが近い将来自分の夢でもある国際社会で認められる人材になりたいと思います!これからもどうぞよろしくお願いいたします。



## 例会のご案内

- 今週の卓話 4月25日(木)  
テ - マ:食後30分は歯をみがくべきではないのか?  
会員卓話:梅村 昌孝さん
- 次週 5月2日(木) R規定により休会
- 次々週卓話 5月9日(木)  
テ - マ:新会員イニシエーションスピーチ  
会員卓話:柳田 篤弘さん